

2022年

安平町議会議長

牧田 弘満



新年あけましておめでとうございます。町議会を代表しまして一言ご挨拶を申し上げます。

町民の皆様には、輝かしい新春をご家族お揃いで健やかに迎えられること心からお慶び申し上げます。また、日頃より町議会に対しまして、深いご理解と格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと新型コロナウイルス感染症によるクラスターの発生などにより、北海道では2度の緊急事態宣言が発出され、消毒や換気などの感染防止対策に加え、外出などの行動が制限されるなど日常とは程遠い1年であったと感じております。

そのような中、賛否が分かれましたが「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」が開催され、連日の日本選手の活躍をテレビで観戦・応援しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響によって町内の聖火リレーが中止となり、さらには安平町の一大イベントである「うまかまつり」、そして例年各地区で開催されている文化祭が中止になったことは感染防止のためやむを得ないことですが、参加を予定されていた皆様におかれましては、言葉では言い表せない程の残念な心境であったと推察いたします。

一方、医療現場などでは、感染拡大によって非常に厳しい状況の中、日夜ご尽力されました医療関係者をはじめ福祉施設関係者など現場の最前線で新型コロナウイルス感染症と戦っている皆様には、心から敬意と感謝を申し上げます。令和3年の秋から感染者は減り落ちてきている様子ですが、変異した新型コロナウイルス感染症が各国で急激に拡大し、我が国でも感染者が発生した報道を見ますと、また緊急事態宣言が発出されるのではないかと憂慮しております。新型コロナウイルス感染症を受けた飲食店で、大きな影響を受けた飲食店をはじめ各業種、農業を営まれている皆様におかれましては、不安な状況が続いている中で新年を迎えるに至りませんでしたことを謹んでお見舞い申し上げますとともに、1日も早く終息することを願うばかりであります。

さて、令和4年の干支は壬（みずのえ）寅（とら）でございます。壬寅は、才気や運氣が芽吹き新しい成長が期待できる年、冬が厳しいほど春の芽吹きは生命力に溢れ華々しく生まれる年になると言われております。安平町は北海道胆振東部地震で被災し、復旧・復興も道半ばの中で続けて新型コロナウイルス感染症の影響を受け、まさに厳しい冬の時期が続きましてので、壬寅の今年が安平町全体がこれまで以上の賑わいを取り戻し、そして成長をする年となることを期待しそして心から強く願っているところでございます。

います。

人口減少問題、まちづくりに、異常気象への対応や地球温暖化防止への取り組みなど様々な課題が山積してありますが、私たち議員は、町民の皆様が安心して生活することができるよう一丸となって残された任期を全うして参る所存でありますので、今後とも一層のご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びになりますが、新型コロナウイルス感染症の1日も早い終息を願い、本年が町民の皆様にとりまして輝かしい年となりますことを心よりご祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。



安平町農業委員会

職務代理 谷口 龍治
委員 岩倉 啓一

長澤 健次

富樫 瑛一朗

横澤 和子

池田 直樹

辻 信芳

宮内 康博

梅田 鋭敏

南 美彦

阿部 修一

安平町教育委員会

教育長 種田 直章

委員 山根 弘文

山下 美樹

守屋 竜起

佐々木 望

喪中により新年のご挨拶を控えさせていただきます。

農業委員会

会長 梶原 和亀男

委員 秋田 実

水橋 勉